

4

ひんがしに
杯

山口洋子



ところで、もう一杯^{いっぱい}④

やまぐちようこ
山口洋子

© Yoko Yamaguchi 1988



講談社文庫
定価320円

昭和63年5月15日第1刷発行

発行者——加藤勝久

発行所——株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21 〒112

電話 東京(03)945-1111(大代表)

Printed in Japan

デザイン——菊地信義

製版——豊国印刷株式会社

印刷——豊国印刷株式会社

製本——有限会社中沢製本所

落丁本・乱丁本は小社書籍製作部あてにお送りください。
送料は小社負担にてお取替えします。なお、この本の内容
についてのお問い合わせは文庫第一出版部あてにお願い
いたします。(庫一)

ISBN4-06-183989-6 (0)

講談社文庫刊行の辞

二十一世紀の到来を目睫に望みながら、われわれはいま、人類史上かつて例を見ない巨大な転換期をむかえようとしている。

世界も、日本も、激動の子兆に対する期待とおののきを内に蔵して、未知の時代に歩み入ろうとしている。このときにあたり、創業の人野間清治の「ナショナル・エデュケイター」への志を現代に甦らせようと意図して、われわれはここに古今の文芸作品はいうまでもなく、ひろく人文・社会・自然の諸科学から東西の名著を網羅する、新しい総合文庫の発刊を決意した。

激動の転換期はまた断絶の時代である。われわれは戦後二十五年間の出版文化のありかたへの深い反省をこめて、この断絶の時代にあえて人間的な持続を求めようとする。いたずらに浮薄な商業主義のあだ花を追い求めることなく、長期にわたって良書に生命をあたえようとつとめるところにしか、今後の出版文化の真の繁栄はあり得ないと信じるからである。

同時にわれわれはこの総合文庫の刊行を通じて、人文・社会・自然の諸科学が、結局人間の学にはかならないことを立証しようと呼んでいる。かつて知識とは、「汝自身を知る」ことにつきていた。現代社会の瑣末な情報の氾濫のなかから、力強い知識の源泉を掘り起し、技術文明のただなかに、生きた人間の姿を復活させること。それこそわれわれの切なる希求である。

われわれは権威に盲従せず、俗流に媚びることなく、渾然一体となって日本の「草の根」をかたちづくる若く新しい世代の人々に、心をこめてこの新しい総合文庫をおくり届けたい。それは知識の泉であるとともに感受性のふるさとであり、もっとも有機的に組織され、社会に開かれた万人のための大学をめざしている。大方の支援と協力を衷心より切望してやまない。

一九七一年七月

野間省一

林真理子	テネシーワルツ	スター歌手・葉山サチと異母姉のふたりの人生が織りなす時代の光と闇を追う長編小説。	360円
和久峻三	一億分の一秒の侵入者 ^{ハッカー}	姿なき銀行オンラインジャックとの息づまるような頭脳戦。コンピュータ犯罪推理長編。	380円
船戸与一	神話の果て(上)(下)	破壊工作員志度正平が企業の依頼で潜入したアンデス山中には苛烈な運命が待っていた！	上400円 下360円
勝目 梓	闇が裂ける	一本の電話がレストラン社長の幸福な家庭を地獄に叩き込んだ。性と暴力の長編復讐劇。	460円
門田泰明	狂瀾のメス	幼女がある種の菓子に示す特異な反応の謎を追う、美人女医津山慶子の愛と献身のカルテ。	400円
伴野 朗	香港から来た男	新幹線内の殺人と香港の美術商殺しとの接点は何？ 名探偵陳展望が日本で活躍する長編。	440円
山口洋子	ところで、もう一杯④	男の軟弱さを叱りつつ、同時に女の考えている本音を教え、男を励ます痛快なエッセイ。	320円
山口洋子	山口洋子の愛情対談	いい男の生き方は鮮烈！ 芸能、野球、文壇のいい男十七人が素顔を公開する新鮮対談集。	320円
松谷みよ子	アカネちゃんと お客さんのパパ	母と子の世界をさわやかに描いた不朽の名作「モモちゃんとアカネちゃん」シリーズ第五作。	280円

森村誠一	ロマンの象牙細工
戸川幸夫	ヒトはなぜ助平になったか
森本毅郎	母のオルガン
常盤新平	ベースボール・グラフィティ
上野 明	伸びる会社伸びない会社
佐藤綾子	自分育てのすすめ
能見俊賢	血液型恋愛学
前田寿夫	市民版防衛白書Q&A

ミステリーの鬼才が初めて明かすトリックの種と仕掛けの数々。推理小説の書き方読本。

ヒトの性を捉えなおし、人間と動物の性の本質について、真面目に考察する性談動物記。

疎開、出征、終戦、結婚。昭和という時代を真摯に生きた家族の軌跡を描く自伝的長編。

本場アメリカ野球のちよつといい話、エツと驚く秘話八十四編。野球談義の異色ネタ本。

伸びる会社と伸びない会社とをどうすれば見分けられるか。学生や投資家も必読の一冊。

人生という一度かぎりの舞台で、いくつもの可能性を育て、多面体に生きるための提案。

愛に悩んだとき、血液型が指針になる。長年の研究成果をふまえた、書きおろし恋愛論。

米ソ核軍縮の動きのなか、防衛力増強に邁進する日本。市民の疑問に答える「防衛白書」。

460円 360円 400円 360円 380円 300円 340円 480円

表示価格はすべて定価です

眉村 卓不器用な戦士たち
丸谷才一 笹まくら
丸谷才一 横しぐれ
丸谷才一 たった一人の反乱全冊
丸谷才一 日本文学史早わかり
前川恵司 韓国・朝鮮人
松野杜夫 麻雀を打つ剣豪
牧野 昇 衰亡と繁栄
三島由紀夫 剣
三島由紀夫 絹と明察
三島由紀夫 太陽と鉄
水上 勉 湖の琴
水上 勉 北国の女の物語全二冊
水上 勉 火の舞い全二冊
水上 勉 野の鈴全二冊
水上 勉 石を抱いた樹全二冊
三好 徹 六月は真紅の薔薇
三好 徹 五人の棋士
三好 徹 闘う男たち

三浦哲郎 拳銃と十五の短篇
三浦哲郎 踊子ノラ
三浦哲郎 おろおろ草紙
宮城まり子 ねむの木の子ども
宮城まり子 編としみつ
三浦綾子 ひつじが丘
三浦綾子 自我の構図
三浦綾子 死の彼方までも
三浦綾子 毒麦の季
三浦綾子 岩に立つ
三浦綾子 青い棘
三浦綾子 イエス・キリストの生涯
三浦綾子 愛に遠くあれど
三浦綾子 太陽はいつも雲の上に
宮尾登美子 一絃の琴
宮尾登美子 女のあしおと
宮尾登美子 花のきもの
宮尾登美子 天璋院篤姫全二冊
皆川博子 トマト・ゲーム

皆川博子 奪われた死の物語
皆川博子 知床岬殺人事件
見延典子 もう頬づえはつかない
見延典子 いつのまにか晴れた空
宮沢賢治 銀河鉄道の夜
宮崎康平 まぼろしの邪馬台国
宮本 輝 二十歳の火影
宮本 輝 命の器
光岡 明機 雷
三輪和雄 いのちある限り
三輪和雄 空白の五分間
宮下孝晴 文モナ・リザが微笑む
佐藤幸三 写真
三石由起子 ダイアモンドは傷つかない
南山 宏 宇宙から来た遺跡
南山 宏 宇宙と地球のミステリー
三根生久 大キミは核を見たか
三國連太郎 白
宮野 澄 正しきものは強くあれ
宮崎 緑 人間・土光敏夫とその母
皆川博子 キヤスターです

講談社文庫 目録

村上元三 佐々木小次郎全二冊	向田直幹 モンマルトル／モンパルナス （パリ美術散歩）	森村誠一 一致 死 眷 属
村上元三 源 義 経全五冊	村山元英 わが家の日米文化合戦	森村誠一 裂けた風雪
村上元三 水戸黄門全八冊	村松友視 サイゴン・ティをもう一杯	森村誠一 姦 の 毒
武者小路実篤 友 情	村松友視 上海酔眼	森村誠一 魔 少 年
椋 鳩十 マヤの一生	村上信夫 帝国ホテル料理長の 楽しいフランス料理	森村誠一 空洞の怨恨
棟方志功 板画・奥の細道	室伏哲郎 企業犯罪	森村誠一 終身不能囚
棟方志功・版画 保田與重郎・歌 炫 火 頌	室伏哲郎 高級官僚	森村誠一 影の分岐
村上 龍 限りなく透明に近いブルー	村山リウ 説き語り「源氏物語」	森村誠一 完全犯罪の座標
村上 龍 海の向こうで戦争が始まる	森村誠一 高層の死角	森村誠一 腐蝕の構造
村上 龍 コインロッカー・ベイビーズ全二冊	森村誠一 虚構の空路	森村誠一 ピラミッド社会の底辺から
村上 龍 アメリカン★ドリーム	森村誠一 密閉山脈	森村誠一 相 死 相 愛
村上龍ほか ビートルズってなんだ？	森村誠一 鉄筋の畜舎	森村誠一 解体 死 書
香月利一編	森村誠一 黒の事件簿	森村誠一 太陽黒点
向田邦子 眠る 盃	森村誠一 虹への旅券 （バスガイド）	森村誠一 空 洞 星 雲
向田邦子 夜中の薔薇	森村誠一 恐怖の骨格	森村誠一 凄 愴 園
村上春樹 風の歌を聴け	森村誠一 ロマンの奇木細工 （モザイク）	森村誠一 東京空港殺人事件
村上春樹 羊をめぐる冒険全二冊	森村誠一 花 の 骸 （ミステリー）	森村誠一 神より借りた砂漠
村上春樹 カンガルー日和	森村誠一 偽造の太陽	森村誠一 致 死 連 盟
村上春樹 夢で会いましょう	森村誠一 死 媒 蝶	森村誠一 垂直の死海

森村誠一 青春の源流全四冊	森村誠一 奴	森村誠一 搜查線上のアリア	森村誠一 螺旋状の垂訓	森 鷗外 阿部一族・山椒大夫・高瀬舟ほか八編	森 政弘 「非まじめ」のすすめ 正統	森政弘編 「非まじめ」対談	森本哲郎 夢二の小径	森本哲郎 読書の旅	両角良彦 1812年の雪	両角良彦 東方の夢	森 清町工場からの発想	盛川 宏釣りバカ料理帖	盛川 宏釣つたら食べなきや	森 毅ものぐさ数学のすすめ	森 毅居なおり数学のすすめ	森 瑤子 夜ごとの揺り籠、舟、あるいは戦場	森 瑤子 ミッドナイト・コール	諸井 薫夕餉の仕度の匂いがある
森 祇晶 勝つための参謀学	守 誠 華麗なる窓際族	森 詠 雨はいつまで降り続く 全二冊	山岡莊八 徳川家康全二十六冊	山岡莊八 歴史対談 徳川家康	山岡莊八 織田信長全五冊	山岡莊八 豊臣秀吉へ異本太閤記 全六冊	山岡莊八 源頼朝全二冊	山岡莊八 蓮	柳田邦男 大いなる決断	柳田邦男 ガン回廊の朝全二冊	柳田邦男 日本の逆転した日 全二冊	柳田邦男 発想の現場	柳田邦男 事実からの発想	柳田邦男 日本は燃えているか 全二冊	柳田邦男 フェイズ3の眼	柳田邦男 続フェイズ3の眼	山口 瞳 血涙十番勝負全二冊	山口 瞳 単身赴任
山口 瞳 同行百歳	山口 瞳 婚約	安岡章太郎 海辺の光景ほか六編	安岡章太郎 走れトマホーク	山田風太郎 妖説太閤記全二冊	山田風太郎 戦中派不戦日記	山村美紗 マラッカの海に消えた	山村美紗 葉煙草の罨	山村美紗 花の寺殺人事件	山村美紗 ガラスの棺	山村美紗 三十三間堂の矢	山村美紗 ヘアデザイナー殺人事件	山田正紀 ヨハネの剣	山田正紀 風の七人	山田正紀 ツングース特命隊	山田正紀 アフロディーテ	山田正紀 闇の太守	山村正夫 裂けた背景	山村正夫 陸奥こけし殺人事件

安本末子にあんちゃん	山口昌男道化の宇宙	吉行淳之介星と月は天の穴
安田二郎 マネー・ハンター	山本 儒 とっておきの旅100選 (東日本編)(西日本編)	吉行淳之介闇のなかの祝祭
山口洋子 愛する嘘を知ってますか	山本七平 日本人の社会病理	吉行淳之介暗 室
山口洋子 山口洋子の慕情対談	小此木啓吾	吉行淳之介靴 の 中 身
山口洋子 愛されかた知ってますか	山田智彦 ザ・マーケット全三冊	吉行淳之介街角の煙草屋までの旅
山口洋子 プライベート・ライブ	矢口高雄 釣りキチ三平中国を行く	吉村 昭 日本 医 家 伝
山口洋子 ドント・デイスターブ	山川健一 みんな十九歳だった	吉村 昭 北天の星全三冊
山口洋子 ところで、もう一杯	山川健一 鏡の中のガラスの船	吉村 昭 ふおん・しいほととの娘 全三冊
山口洋子編 平尾昌晃の 歌上手になる本	山川健一 コーナーの向こう側へ	吉村 昭 赤 い 人
山口洋子編 猪俣公章の 歌上手になる本	結城昌治 死者におくる花束はない	吉村 昭 海も暮れきる
山口洋子編 曾根幸明の 歌上手になる本	結城昌治 公園には誰もいない	吉村 昭 孤独な噴水
山口洋子編 鈴木 淳の 歌上手になる本	結城昌治 死 の 報 酬	吉村 昭 間 宮 林 蔵
山口洋子編 市川昭介の 歌上手になる本	結城昌治 死体置場は空の下	吉田 満 鎮魂戦艦大和全三冊
山本夏彦 二流の愉しみ	湯川秀樹 自 己 発 見	横尾忠則 なぜぼくはここに居るのか
山際淳司 ベースボール・スケッチブック	吉川英治 宮本武蔵全六冊	横尾忠則 わが坐禅修行記
山崎正和 町 記	吉川英治 新書太閤記全八冊	横田順彌 脱線! たいむましん奇譚
矢原秀人 実践ドライブブック	吉川英治 三 国 志全八冊	横田順彌 対人カメレオン症
矢原秀人 完全ドライブブック	吉川英明 編著 吉川英治の世界	横田順彌 奇想天外殺人事件
矢田喜美雄 謀殺下山事件		吉野秀雄 やわらかな心



講談社文庫

ところで、もう一杯④

山口洋子

講談社

目次

春の巻

空で拾ったちよっという話

X氏と人生吝嗇論

大日本花見宴事情

中年男、まずやめたい3カ条

“ここだけ春”のおしゃれを

「いじめっ子」「いじめられっ子」

見上げてごらん、夜空を

情事の後の一服さらば

人間の顔は時計の文字盤

近ごろの若いダメ男

男の料理狂いに一言あり

関西半練り男性大流行

四五

四八

五

五四

五七

杏

三

六七

六九

七

七四

七二

△

스

六

九

雨降ると女は男が欲しくなる

哀れ自信のない男の処女願望

女から見た男の血液型考

何やらおかし「ヒスの脅威」

だらしなくなった男の遊び方

まさにお客様は神様です

パチンコ店の名曲軍艦マーチとMASU

東京でゾッと涼む話

亭主ども、シャキッとせんかい

ケツケツケツ髪の毛奇談

秋の巻

ふぐ料理・男は味を、女は時間を楽しむ

折り詰め弁当型より一品料理風の男がいい

日本人はジゴロになれない

口説き上手はスピーチ上手

コートが似合うか否か・洒落と野暮の境界線

人間迷うなんて言い訳さ

品よし味よし“ゴザ破り”

ドキドキ日帰り搭乗記

太極拳開始

曲がり角の行動性・開き直る三十女

実年と健年

気くばり過ぎて高血圧

オトーサン今夜も頑張って

ああ枕、まくら、その使い道

イヤらしい女のY談

“味”を生かせる地方出身男性

男が教えよ、アル中の怖さ

冬の巻

忘年会でモテる方法とタブー集

食事で占う男女の仲

毛皮は弱い男への不満表示

始末の悪い若い女の流行語

おとうさんの小遣いについて

体に悪いものはオイシイ

女心をツユ見せぬパンツ姿

包装で中味が分かる男の下着

哀れオフィスラブ

別れ……未練がましい東京の男

愛よりも面倒臭さの師走かな

別れた男は安ボトル

「男女平等」にいま一考を

ラブレターと作詞のコツは同じ

カラオケ制覇のTPOは？

忘年会カラオケべからず集

“姫はじめ”はギリはじめ？

